

KSKQ

ゆうとのおん

通信

NO.123

2022 年 1 月号

郵便振り込み口座 00910-9-106532

編集人 (社福) ゆうとのおん通信 編集委員会 八尾市久宝園 2-30-4



ことし
今年もゆうとのおんを
ねが
よろしくお願いいいたします。

がんたん
元旦



一九九一年 九月三日 第三種郵便物承認 毎月(一・二・三・四・五・六・七・八の日) 発行 定価50円

ねん 2022年

しん ねん ほうふ 新年の抱負～はーと～

さをり

- ・散歩のルートを増やしたい(特に神社)。
- ・散歩に行きたい！
- ・MayJのライブに行きたい！
- ・日帰り旅行に行きたい！
- ・BIGBANGのライブに行きたい！

けい さ ぎょう 軽作業

- ・来年もお仕事とゲームを頑張ります！よろしくお願いします！
- ・初詣に行きたい。
- ・本体入れの作業の時、袋をしっかりと広げる。
- ・仕事頑張りたい。
- ・結婚したい！

きっ さ パン・喫茶

- ・パンの発酵の時間と仕上げの仕事を頑張っておぼえたいです。
- 販売の仕事もしたいです。お給料をあげてほしいです。
- ・来年は、パン作りをしっかりと丁寧に頑張って働きたいと思います。
- 今はまだ、ちゃんとできていないので…これから一つ一つ身につけれるようになっていきたいと思います。宜しくお願いいたします。
- 皆さんが、良いお年でありますように。

すもーる

- ・(新しくなる)車いすのって行動範囲を広げたい。
- ・スタコラハウス復帰したい。
- ・健康第一。(来年寅年なので)阪神タイガースが日本一になるのが見たい。
- ・自分のペースで過ごしたい。

ゆうとおんほ一ふ



縁あって、八尾の友人から毎年、たくさんのゆずを分けていただいています。昨年、ゆずの実らない年だったそうで、『ゆずかりんとう』が作れず、たくさんの方々から、「今年はゆずないの？」という声が聞かれました。今年は、なんとゆずが大豊作♥たくさんのゆずをいただきました。そしてかりんとう班では、せつせと皮のすりおろし、果汁の使い道など工夫を凝らし、みなさんにもバージョンアップした『ゆずかりんとう』をお届けできることになりました。

そして

ほ一ふみんなで、家内安全 無病息災
五穀豊穰 良縁成就 待ち人来る..

などなど、欲張りに祈りながら..
楽しい一年にしたいと思います。



そのゆずの友人よりちょっと C M

【只今入 寮生募集中！！】

あなたも 留学生や技能実習生とひとつ屋根の下、共同生活をしてみませんか？

個室、エアコン、ベッド、机、冷蔵庫完備。いつでも見学おまちしていま～す

[連絡先]

I. S. D. 花岡 寮

寮母 齋当利美

TEL080-1470-3005

うえーぶ

がつ

きゅうほうじりよくち

えんそく

い

10月に久宝寺緑地へ遠足に行きました

もっと良い所へ行きたい。

どんぐりとった。お弁当食べた。公園であそんだ。

しゃくいん いろいろさんぽ
職員と色々散歩できた。



すべり台ありました♪ ソフトクリームありました♪

サッカーできて楽しかった。

公園であそびました。どんぐりひろい楽しかった。



お弁当おいしかった。楽しかった。アイス食べた。弁当が小さかった(芋をもう少し食べたかった)

歩くの少し疲れたけど楽しかった。畠森さん走ってました。滑ってました。

しょうがくせい
小学生ぶりに派手にこけた(>_<)

これから行きたい・やってみたい

ゆうとおんうえーぶ

ねんほう ふ
2022年抱負(レクリエーション)

みんなで上げたい。なわとび買いたい。

八尾北食堂がんばりたいです。クッキーづくりもがんばりたいです。

野球観戦 乗り物に乗りたい。結婚したい、納品行きたい。

マルデカフェ行きたい。鶴見緑地、天王寺、USJに行きたい。

久宝寺緑地の様な大きな公園。海遊館、映画、東映太秦映画村

吉本新喜劇、メイド喫茶



来年は楽しいことが沢山出来ますように(^^♪

<みんなの作品展>

2021年11月23日～26日 INありありす

昨年^{さくねん}に引き続き、コロナ感染^{ころな かんせん}予防^{よぼう}に努^{つと}めながら、さをり展^さを無事^{てん ぶ}開催^{かいさい}することができました。今回^{こんかい}は、ゆうとおんの日々^{ひび}の活動^{かつどう}の様子^{ようす}も知^しっていただければと、うえーぶや、すもーるはーとのメンバー^{さくせい}が作成^{さくせい}したイラストやほーぷのメンバー^{さくせい}のレゴブロック^{れご ぶろっく}の作品^{さくひん}も展示^{てんじ}してみました。これからも、さをり織^おりに限定^{げんてい}せずに、世界^{せかい}に一つ^{ひとつ}だけの作品^{さくひん}を「ゆうとおん」から発信^{はつしん}していければと思います。

また、「今年^{ことし}もまた欲しい！」と来てくれた人^{ひと}や、何度も覗^{のぞ}きにに来てくれた人^{ひと}もいて、さをり織^おりを通して人とのつながること^{ひととのつながり}の面白^{おもしろ}さを感じるとともに、私^{わたし}たちの作るモチベーション^{モチベーション}アップにも繋^{つな}がります！今年^{ことし}もたくさんの方^{かたがた}々に来場^{らいじょう}していただき、ありがとうございました。

さをり班^{はん} 古川^{ふるかわ}（はーと） ・ 中谷^{なかたに}（ほーぷ）



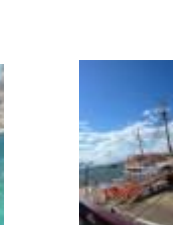
「はーと 日帰り旅行^{ひ がえ りょこう}に行ってきました！」

2021年11月12日（金）

行先^{いきさき}：海遊館^{かいゆうかん}、天保山^{てんぼうざん}マーケットプレイス

昨年^{さくねん}はコロナ感染^{かんせん}症^{しょう}拡大^{かくだい}により、出掛^{で か}けるタイミン^のグを逃^{のが}し、今回^{こんかい}やっと緊急^{きんきゅう}事態^じ宣言^{たいせんげん}が明^あけたことで、約2年^{やく 2ねん}ぶりの日帰り旅行^{ひ がえ りょこう}に行^いってきました。当日^{とうじつ}は天候^{てんこう}にも恵^{めぐ}まれ、短^{みじか}い滞在^{たいざい}時間^{じ かん}ではありましたが、メンバーや職員^{しよくいん}も久し^{ひさ}ぶりの外出^{がいしゅつ}で、たの^{たの}しい時間^{じ かん}を過^すぎしました。リフレッシュできたとともに、大^{おお}きな混雑^{こんざつ}やトラブルも起^おきることなく、はーとに戻^{もど}ってこれたこと^{すこ}に少しホッとしています！このままコロナ感染^{かんせん}症^{しょう}が収束^{しゅうそく}して、安心^{あんしん}して外出^{がいしゅつ}できることが続^{つづ}くといいなと思っています。

（親睦会^{しんぼくかい}担当^{たんとう} 古川^{ふるかわ}あきこ）



当世作業所事情 85

武器は何を守るのか

畑 健次郎

「貧しさに負けた いえ世間に負けた・・・」
貧しさの原因を社会のありように求めることを
せず、世間とたたかうこともせず、さくらと一郎
の「昭和枯れすき」は一気に「いつそきれいに死のうか」と自己完結します。心根のやさしい人々には、今も昔も自己責任を言い立てられる生きがたい世の中です。
コロナ禍で自殺者が増加に転じたと報じられています。一方で、戦争放棄を宣言する日本国憲法9条などなんのその、政権与党周辺では、敵基地攻撃能力が検討されています。北朝鮮や中国に負けてなるものかと1000キロを射程に入れたミサイルの開発が現実味を帯びだしています。1000キロ先にも人々のかけがえのない日常があります。「美しい国」を守ること
に余念のない人々たちにとつて、一人ひとりの営みの総和は、数値だけが独り歩きする無機質な「国力」でしかありません。
小泉さん以来の新自由主義は、規制緩和を旗印にして競争をとおし、分配機能を劣化させ、貧富の差を拡大させてきました。その挙句「希望は

戦争」という人々たちまで生み出しました。

福祉の世界も例外ではなく、ビジネスチャンスをもめ多くの事業者が参入しています。

観念的で怪しげなところもありますが、実態はさておき、障害者福祉にかかわる多くの人々は「共に生きようとする人間関係と、それを支えるおたがいさまの社会を目指してきました。

新たな参入者(だけではありませんが)は「ご利用者様」の家族のニーズや事業収益に敏感です。そのこと自体が悪いわけではありませんが、そこにどれだけの人間観、社会観が裏打ちされているのか疑問です。

ふるさと納税に典型的ですが、奮闘する自治体や過疎で悩む自治体、なつかしいふるさとへの応援というよりも、その自治体が提供する「返礼品」目当てという側面が色濃くなっています。

何のために、何をという問いをないがしろにしているのか、私たちも振り返らねばなりません。

先日、グループホームの現場責任者として働いていた、Dさんが久しぶりにやってきました。

私たちが口にする「共に生きる」は、標語の域をなかなか出ませんが、Dさんは「共に生きる」を体現しています。

彼女の顔見知りの住人のいるグループホームに行く前に、少しもやま話をしました。

ある当事者を「大好きだ」とDさんは言います。「損得勘定に對するあの執着のしかたはどうもいただけない」と、私は難癖をつけます。

「一人の人間にはいろんな面があるけれど、私はその人のいいところを見たい」

Dさんが言う、道徳の教科書のような返答も、妙に説得力を持ちます。私は自分の度量の狭さを認めざるを得ません。

グループホームは厚労省によって、再編の危機に立たされています。

簡単に言うと、「手のかかる人」たちと、「軽度」の人たちを分離しようという案です。前者に對しては定員増を図り、効率的なミニ施設で対応し、後者は通過型の期限付きの住居にしようという目論見です。

暮らしの場はどんな人にとつても生活の基盤です。その一つであるグループホーム自体も、もつと多様であっていいはず。効率ばかり求める社会はさすがすして潤いがありません。

さて厚労省への批判はブーメランのようになって、私たちに返ってきます。足元を見てみれば、同じような状態の人たちで集団を構成する方が、その人たちにとつて幸せではないかといった、「善意」の効率主義がはびこっています。

一人ひとりの当事者は多様な個性を持っています。

Aさんに合った生活形態が、外見上似ているBさんにも当てはまるとは限りません。

法人としては多様な個性(当事者はもちろんのこと、

職員(しやくいん)に対して(たい)も効率(こうりつ)よく管理(かんり)しようとしていないか、平場(ひらば)の関係(かんけい)よりも上下関係(じやうげかんけい)を重んじていないか、当事者(とうじしや)に自分(じぶん)たちの価値観(かちかん)を押し付け(お)ていないか、絶えず検証(けんしやう)しなければ、ミニ国家(ミニこく)の模型(もけい)ができてしまします。

2022年(ねん)がどんな年(とし)であつて欲しいのか。

ゆうとおんのなかでも話がすすんでいなくて、まだ個人的(こじんてき)なイメージ(いめーじ)の域(いき)を出(で)ていませんが、新しい「暮らし(くら)の場(ば)」に挑戦(ちやうせん)したいと思っています。

そこに住(す)む当事者(とうじしや)の個別状況(こべつじやうきやう)に合わせて、きちんと暮らし(くら)しが閉(と)じられていて、そして可能(かのう)なかぎり開(ひら)かれている「生活(せいかつ)の場(ば)」、「いろんな人(ひと)たちが行き(い)かう場(ば)」というイメージ(いめーじ)です。

よりよい既製服(きせいふく)を探(さが)してきたのがグループホームだとすれば、それでは少し窮屈(きゆうくつ)な体型(たいけい)の人(ひと)たちの「生活(せいかつ)の場(ば)」を軸(じく)にして、困(こま)りごとや希望(きぼう)を分かち合(あ)う、小さいけれどもなんでもありの場(ば)というイメージ(いめーじ)です。

今(いま)、一日(いちにち)で100万円(まんえん)という国会議員(こっかいぎいん)の文書交通費(ぶんしやうかうつうひ)が話題(わだい)になっています。へえ、こんな実態(じったい)だったのかとおどろきますが、政治(せいじ)の世界(せかい)は、私(わたし)たちにとってブラックボックス(ブラックボックス)です。

そして困(こま)ったことに、少しでも生活(せいかつ)をよくしていきたいという庶民(しよみん)の営為(えいゐ)を一瞬(いつしゆん)にして吹き飛ば(と)す力(ちから)を持(も)っています。

2021年(ねん)10月末(がつまつ)の選挙結果(せんきよけつ)は、戦争(せんそう)できる国(くに)にまた一歩踏(ふ)み出すことに、お墨付(すみつけ)きを与(あた)えました。戦争(せんそう)ごっこ好きな子ども(こ)にも本物(ほんもの)の鉄砲(てっぽう)を与(あた)えたようなものです。

2022年(ねん)、ゆうとおんはグループホーム(グループホーム)の再編(さいへん)に反対(はんたい)、障害(しょうがい)当事者(とうじしや)の暮らし(くら)の場(ば)を守る闘(たたか)いの一助(いちじょ)を担(にな)いたいと思います。

そして、新たな「暮らし(くら)の場(ば)」、「はたらく場(ば)」づくりにもとりかかりたいものです。

個人(こじん)としては、核兵器禁止条約(かくへいきんしじやうやく)の批准(ひじゆん)に一步(いっぽ)でも近づ(ちか)ぎますように、辺野古(へのか)の海(うみ)の埋め立て(ためだて)が中止(ちゆうし)になりますように、赤木(あかぎ)さんの願(ねが)いが通(つう)じますように、宝(たから)くじ(く)が当た(あ)りますように・・・いろいろな思(おも)いですが、あくせくしないで気持ち(きもち)に余裕(よゆう)をもつて生きていきたいもの(もの)だと思います。

若い(わか)ころ、国家(こく)なんてないほうがいい、みんな地球(ちきゅう)市民(しみん)でいいじゃないかと思(おも)っていました。国家(こく)に固執(こくしつ)する限り戦争(せんそう)は絶(た)えません。人民(じんみん)の解放(かいほう)を掲(か)げて戦(たたか)った中国共産党(ちゆうごくせんとう)が、国家権力(こくかけんりき)を掌握(しようあく)すると、今度(こんど)は自ら(みづか)が特権階級(とくけんかいきゆう)に化(か)したように、欲望(よくぼう)は理念(りねん)を超(こ)えていきます。

自分(じぶん)たちが否応(いやおう)なく抱(かか)え込んでいる排他(はいた)的感情(かんじやう)や、権力者(けんりきや)への同化志向(どうかしやう)を少しでも変(か)えていくことによつておたがいさまの社会(しゃかい)を広(ひろ)げていきたいものです。

国家(こく)の廃絶(はいぜつ)は遠(とほ)い未来(みらい)のことかも知(し)れないと思(おも)った私(わたし)が共感(きやうかん)できたのは、対外的(たいがいてき)には非武装中立(ひぶそうちゆうりつちゅうし)、

制度(せいど)としては死刑廃止(しけいはいし)でした。国家防衛(こくかぼうゑい)という名目(めいもく)で、他国(たこく)の人(ひと)たちを殺(ころ)して称(たた)えられるのが戦争(せんそう)です。

特権階級(とくけんかいきゆう)の利害対立(りがいたいりつ)の犠牲(ぎせい)になるのは、社会的(しゃかいてき)に弱い立場(よわいたちば)の人(ひと)たちや、ちよつと煽(あお)られたら権力者(けんりきや)に同化(どうか)してしまいがちな庶民(しよみん)です。

「武器(ぶき)よさらば」どころか、日本(にほん)は軍事費(ぐんじひ)の増額(ぞうがく)は当然(とうぜん)という政治家(せいじか)たちが増(ふ)えています。地球(ちきゅう)の大半(たいはん)が廃墟(はいきょ)になつても、しがみつこうとする権力(けんりき)の魔力(まりよく)の正体(しょうたい)を知(し)りたいものです。

今は亡(な)き、本多立太郎(ほんだりつたろう)さんが「戦争(せんそう)嘶(な)で、くり返し(かえ)、戦争(せんそう)は「別(わか)れと死(し)」以外(い)の何物(なにもの)でもないと言(い)っていました。したが、そうした声(こゑ)がだんだん小(ちい)さくなるのではないかと、気(き)がかりな頃(ころ)です。

今(いま)一つ、国家(こく)による殺人(さつじん)という野蛮(やばん)な死刑制度(しけいせいど)の廃止(はいし)、生(い)きているうちに実現(じつげん)すると思(おも)っています。

しかし世論調査(よろんちやうさ)では一貫(いつかん)して存置論(そんぢろん)が多数(たすう)を占(し)めています。「抑止力(よくしりよく)」の根拠(こんきよ)は揺(ゆ)らいでいますが、「抑止力(よくしりよく)」と共に、「被害者(ひがいしや)の気持ち(きもち)を考(かんが)えると許(ゆる)せない」というのが存置論(そんぢろん)の大きな拠(よ)り所(じょ)です。被害者(ひがいしや)の無念(むねん)は想像(そうぞう)に難(かた)くありません。それはわかります。それなら、最も恨(む)みを晴(は)らしたいと思(おも)う人(ひと)が死刑執(しけいしつ)行(こう)の現場(げんば)でボタン(ボタン)を押(お)すべきです。

2022年(ねん)、少(すこ)しもいい年(とし)になりますように。

リレーエッセイ NO.9

とみもり 富森さんが次のリレーエッセイを誰にするか迷っている際、目が合っ^あて^{えら}てしま^{えら}い選^{えら}ばれ^{えら}ました本並^{もとなみ}です。

ゆうとおんうえーぶで働^{はたら}かせてもらい、早いものでこの1月^{はや}で1年^{がつ}が経^{ねん}とうとしていま^たす。

まだまだ分^わからない事^{こと}が多く迷^{おお}惑^{めい}をかけている毎日^{まいにち}ですが、皆^{みな}さん^{たす}の助け^{たす}があり、日々^ひ少しづつ成^{せい}長^{ちやう}させてもらっています。車^{くるま}の運^{うん}転^{てん}もその中^{なか}の1つで、入^に社^{ゆう}した時^{とき}には全^{まった}く^{とき}のペーパードライバー^{ちゆうしやじやうない}だったのですが、うえーぶの駐^{ちゆう}車^{しや}場^{じやうない}内^{ない}でエンジンをかけ、前後^{ぜんご}に動^{うご}くとい^{いっしょ}うとこから一^{れん}緒^{しゆう}に練^{はじ}習^くを始^{くだ}めて下^さり、皆^{みな}さん^{そうげい}の送^で迎^きが出来^{でき}るようになるまでゆ^{みまも}っくりと見^い守^くっていただき^{うんてん}ました。そのおかげ^{いま}で今^くでは車^{くるま}の運^{うん}転^{てん}が少^{すこ}しづつですが楽^{たの}しくな^ひってき^{じぶん}ていて、いつの日^いか自^{かん}分の行^{かん}きたい所^{ところ}まで運^{うん}転^{てん}して行^いけたりしたらいいな^{かんが}あなど^{かんが}と考^{かんが}えたりもしていま^{かんが}す。

これから何^{なに}事^{ごと}にもやり出^だす前^{まえ}から無^む理^りと決^きめつけ^きず、色^{いろ}々^{いろ}な事^{こと}に挑^{ちょう}戦^{せん}していこうと思^{おも}っています。

うえーぶ・本並^{もとなみ}

ゆうとおん協力会・会費ご協力のお願い

この春^{はる}には、ゆうとおんがスタート^{すたーと}して26²⁶年^{ねん}目^めを迎^{むか}えます。いろい^{かだい}ろな課^{つぎ}題^{だい}が次^{つぎ}から次^{つぎ}と出^でてくる日々^{ひび}です。まず、メンバ^{めんばー}ーの高^{こう}齢^{れい}化^かへの対^{たい}応^{おう}、既^き存^{ぞん}のグ^ぐル^るー^うプ^うホ^ほー^ーム^むでの暮^くらしが困^{こん}難^{なん}な人^{ひと}に、ゆ^あった^あり^あした安^{あん}心^{しん}で^{しん}きる日^ひ々^びを過^すご^すせる場^ばづ^づくりが必^{ひつ}要^{よう}にな^なっています。

次^{つぎ}の夢^{ゆめ}に向^むけて歩^{あゆ}みをはじ^{おも}めたいと思^{おも}います。ご協^{きやう}力^{りよく}をよろしくお願^{ねが}いします。

年^{ねん}会^{かい}費^ひ：一^{ひと}口^{くち} 2000^{えん}円^{なん}（何^{なん}口^{くち}からでも結^{けっ}構^{こう}です）

振^{ふり}込^こみ^{さき}先^{さき}：ゆうとおん 郵^{ゆう}便^{びん}為^か替^わ口^{こう}座^ざ 00910-9-106532

社会福祉法人 ゆうとおん

本 部 / 〒581-0834 八尾市萱振町 2-133 TEL 072-993-0785 FAX 072-993-0784
 ゆうとおんはーと / 〒581-0834 八尾市萱振町 7-68-1 TEL 072-926-6200 FAX 072-926-6199
 ゆうとおんうえーぶ / 〒581-0817 八尾市久宝園 2-30-4 TEL 072-926-1543 FAX 072-921-8883
 ゆうとおんほーぷ / 〒581-0834 八尾市萱振町 7-73-2 TEL 072-927-1300 FAX 072-927-1301
 スタコラハウス / 〒581-0802 八尾市北本町 1-1-11 TEL 072-995-4387 FAX 072-995-4387
 メールアドレス / youtone@live.jp ホームページアドレス <http://www.eonet.ne.jp/~youtone>
 年会費 / 1 口 2.000 円 振込先 / 郵便為替口座 00910-9-106532

発行人 / 関西障害者定期刊行物協会 大阪市天王寺区真田山町 2-2 東興ビル 4 階 定 価 / 50 円